

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	葉山港
指定管理者	株式会社リビエラリゾート
指定期間	H22.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	砂防海岸課（横須賀土木事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

施設の魅力向上のため、提案どおりに取組みを実施し、広報活動などにも積極的に取り組んだ。また、今期は利用者数が前年対比で12.5%増加している一方で、指定管理業務の支出が収入を4%上回っているが、これは利用者増に伴う水道光熱費及び小規模修繕費が増えたことによるものであり、収支状況に懸念がないこと、さらに、特筆すべき事故も発生していないことからB判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	4月10日	6月4日	○	○	○	無	概ね良好に業務が行われていた。
5月	6月10日	6月26日	○	○	○	無	概ね良好に業務が行われていた。
6月	7月10日	7月26日	○	○	○	無	概ね良好に業務が行われていた。
7月	8月10日	9月14日	○	○	○	無	概ね良好に業務が行われていた。
8月	9月10日	9月28日	○	○	○	無	概ね良好に業務が行われていた。
9月	10月10日	10月25日	○	○	○	無	概ね良好に業務が行われていた。

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	平成22年度より（施行期間を含む）実施してきた窓口業務の無休化を継続し、利用者の利便性向上を図る。	窓口業務の無休化を実施し、利用者の利便性向上を図った。なお、窓口業務の無休化については、平成25年度末まで継続する予定となっている。

	提案内容	実施状況
2	<p>利用者の利便性向上のため、平成22年7月より導入したレンタルボート事業を継続して実施する。</p> <p>①葉山港通年艇利用者のセカンドボート利用やヨットレースでの支援艇利用など、需要に合わせて利用しやすい艇を選定し、施設利用の促進を図っている。</p> <p>②初回利用の際には、安全講習を必ず実施することにより、事故やトラブルの発生を未然に防止している。</p> <p>③需要が増えてきたため、24年度からは2艇に増艇して、サービスの向上を図る。</p>	<p>レンタルボート事業を継続して実施した。</p> <p>①平成24年度上半期における月間平均利用数は、20件であった。</p> <p>②安全講習の実施により、現在まで事故やトラブルは一切ない。</p> <p>③平成24年4月に2艇目を導入し、サービス向上を図った。</p>
3	<p>現在年間2回実施されている葉山みなとまつり（葉山港みなとまちづくり協議会主催）について、葉山港及び近隣地域活性化のため、ホームページ上での告知や近隣地域への周知、イベントの事前予約などを行い協力する。</p>	<p>4月に開催した葉山みなとまつり「くるる」には約1,200名の参加者が、8月に開催した「しょみんばた」には約2,000名の参加者があり、ほぼ例年並みの来港者があった。</p> <p>今後も葉山港の来港者を増やすため同様の取組みに協力するとともに、今年度下半期には、葉山みなとまつりに加えて、指定管理者主催によるイベントを開催する予定である。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		65,000	—	—	65,000	64,542	458
予算額	前年度	65,500	—	—	65,500	68,738	▲ 3,238
	上半期	32,750	—	—	32,750	34,369	▲ 1,619
	下半期	32,750	—	—	32,750	34,369	▲ 1,619
	今年度	65,000	—	—	65,000	66,106	▲ 1,106 ①
	上半期	32,500	—	—	32,500	33,053	▲ 553
	下半期	32,500	—	—	32,500	33,053	▲ 553
上半期実績額	4月	5,400	—	—	5,400	5,864	▲ 464
	5月	5,400	—	—	5,400	5,415	▲ 15
	6月	5,500	—	—	5,500	4,953	547
	7月	5,400	—	—	5,400	6,704	▲ 1,304
	8月	5,400	—	—	5,400	5,295	105
	9月	5,400	—	—	5,400	5,746	▲ 346
	今年度 上半期合計	32,500	—	—	32,500	33,977	▲ 1,477 ②
	前年度 上半期合計	32,750	—	—	32,750	34,914	▲ 2,164
	対前年度上半期比				▲ 0.8%	▲ 2.7%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	○	指定管理附帯事業・自主事業を一体として見積もっているため予算収支はマイナスとなっている。
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	ヨット出艇数	前年同期数	前年同期対比増減率
4月	1,206 艇	928 艇	30.0 %
5月	1,126 艇	991 艇	13.6 %
6月	894 艇	952 艇	▲ 6.1 %
7月	1,056 艇	1,571 艇	▲ 32.8 %
8月	1,997 艇	1,238 艇	61.3 %
9月	1,545 艇	1,275 艇	21.2 %

	目標数	ヨット出艇数	前年同期数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	7,646 艇	7,824 艇	6,955 艇	2.4 %	12.5 %
今年度下半期計	3,690 艇	— 艇	— 艇	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	前年同期は、東日本大震災の影響により、ヨットレースなどのイベントの自粛や規模縮小が数件あったため利用減となったが、今年度上半期は、全日本選手権等のヨットレースを誘致し、開催した結果、通年艇利用者以外の臨時利用者も増えたことにより、利用者増となった。 前々年度と比較しても利用者数は増加傾向にある。
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	8 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	台風などの荒天の際、対岸の栈橋からロープを取るのが早い係留艇があるため、出港ができない。	対岸からロープを取っている艇に対して、他の艇の入出港に支障が出ないように指導した。
	イベント時に管理事務所棟の受水槽の容量が不足するため、改善してほしい。	今後、イベント等で受水槽の水量が減った際は、スタッフがホースで給水補助をするよう徹底した。
職員対応	ヨットレース大会の際、ヨットが通路にはみ出てヨットが置かれているため、通年艇がスムーズに出港できない。	ヨットレース大会の運営者側に指導するとともに、大会の規模に応じて、大会当日のヤード対応スタッフを増員させることとした。
事業内容	通年艇陸置き募集を行う予定はないのか。	本港の工事が終了するまでは、募集は行わない旨説明済み。
	ホームページから閲覧できるライブカメラについて、荒天時の肝心な時に角度が変わり見えなくなる。	ライブカメラの固定方法を見直し、改善した。
その他	防波堤の解放時間について、開閉門の時刻を伸ばして欲しい。	防波堤の安全管理上、変更するのは困難である旨説明した。
	夏季の帰着時刻の延長はできないか。	港の利用時間については、県例規で定められているため、直ちに変更するのは困難である旨説明した。

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

諸規程類に基づき、利用承認や維持管理業務を実施し、適正な管理・運営を行っていることが確認できた。

今年度上半期の利用者数は、ホームページ等を活用して、全日本選手権等のヨットレースを誘致し、開催した結果、前年同期比で12.5%増加した。その反面、ヨットレースの大会期間中、通路にはみ出てヨットが置かれているため、通年艇がスムーズに出港できないとの苦情が寄せられている。

今後は、港のキャパシティを十分考慮しながらヨットレース等のイベントを誘致するとともに、大会期間中は、他の利用者の支障とならないよう、ヨット搬出入の場所や手順をより明確にする、ヨットレース運営者側と事前打合せを行う、大会の規模に応じて対応スタッフを増員させるなどの対応を行うこととしている。